

# For Competitors 競技ダンスを志す方へ

## 英国留学する前に 1.

英国へのダンス留学を計画されている方、何時か決めていないが将来、英国にぜひ行ってレッスンを受けたいと思っている方へ…。私の経験談を参考にして戴ければ幸いです。

まずは、私が選手を引退してからの事です。

ロンドンでコーチャーとしてトップ・クラスの選手を教えている、元世界チャンピオンのスクールへ表敬訪問した事がありました。

「マナブ、チョット来てくれ、私が何故この様な選手を教えなくてはならないんだ？」

「何を聞いても、イエス・イエスしか返事は帰ってこないし、英語を全然理解できない！ 基本的な技術、姿勢やホールド、二人がワンピースで動く能力、ローアやライズなど、何一つ身に付けていない。」

「それなのに全てのダンスのグループ(ルーティン)をトップ・クラスのものに換えてくれ！と言うのだ。日本でもっとやってくる事があるだろうに！」

現在、多くの日本の選手が渡英し、英国の一流のコーチャーに師事、勉強をしてくることに、私も自分が選手として勉強した立場から理解できるし、一度は本場のダンスに触れてみたい、との思いも分かります。

然し、それには事前に万全の準備をしないことには、[単に渡英した、との肩書を取得する為]に過ぎなくなるのではないのでしょうか？

ステップを変えても、踊りの本質は変わることはないのです。

余りに多い日本人選手の為に、本当に必要とされているトップ・クラスの選手が受ける時間が制限され、日本人のレッスン料が不当に高く取られている事を、知っていますか？

ある英国の選手から聞いたことです。

「私が毎週レッスンを受けている時間をキャンセルされてしまいました。私の時間の後を何時も受けている友人に聞いたら、日本人が受けていたよ！との事。」

「コーチャーに聞いたところ、倍額支払うからレッスンを取ってくれ、と言われ、数時間の英国人のレッスンをキャンセルして日本人に割り振った。」とのこと、当然、そのコーチャーの姿勢も批判されるべきでしょうが…。

この話が他の英国人選手に伝わり、関係の無い日本人選手まで英国人に疎外されてしまう結果となってしまったと知らされたのです。

あるコーチャーが言っていました。

「全英選手権の前など、忙しくて・忙しくて45分間づつ、次から次へと片付けるだけで、自分としても良いレッスンが出来ないことを残念に思っている…と。」

私たちが渡英留学していた時は、毎週一回、同じ曜日の同じ時間を1年間以上に亘り継続してレッスンを取っていました。

コーチャーも私たちの為に特別にカリキュラムを作成し、例えば、次週はローアーと体重移動を徹底的に身に付けさせ、その次に、スイングとライズ…、等々と本当に親身になってプログラムを作って教えてくれたものでした。

無論、60分間ビッチリ、時間を忘れるほど熱心だった記憶があります。

レッスンを受けたことのある人はお分かりの如く、一つの技術を身に付けるだけで、3週間から3ヶ月間もの時間がかかる事はザラでありました。

それを2〜3ヶ月間の滞在で自分のダンスの本質をを向上させよう、と思うのは無理、と言うよりもダンスを知らなさ過ぎと言えましょう。

語学も少なくとも平常の会話、コーチャーに質問をすることが出来る位の勉強は、日本にいる間にして行くべきでありましょう。

良いレッスンを受けるには、そのコーチャーと良いコミュニケーションを築き上げることが重要です。

その為には、会話と共にある程度の時間も必要であります。

本当に自分のダンスを根本的に変えたいのであったら、経済的にも、お客様の事等、考えれば大変な事は分かります。しかし、少なくとも半年や1年間の期間、ミッチリと基本から叩き直さなければ変わる筈がないのです。

その前に日本でやらなければならない事、「基本と英語の勉強」です。